

## 【地区活動報告】

### 2022年規定審議会の審議の経過と改正された定款・細則の主な内容

地区情報規定委員長 北岡 満

2022年11月12日、森本ガバナー始め、地区役員、岡本規定審議会代表議員、檉畑次期代表議員の同席をいただき、ホテルシティイン和歌山にてクラブ情報規定委員長会議を開催致しました。



議案は、国際ロータリーが3年に一度開催する、2022年規定審議会についての報告が主なものです。代表議員として、同審議会にオンラインで出席された岡本代表議員に審議の経過及び採択された制定案の説明をいただきました。

報告いただいた主な内容は以下のとおりです。今回の規定審議会では94本の制定案が係属されました。その中で、日本の代表議員が争点としていた制定案は、以下の4点です。

- ①事務総長の在任期間の制限及び報酬上限を制定する件
- ②SRF（ロータリーの未来形成）構想への反対論
- ③人頭分担金の値上げについて増額の負担感が大きい事
- ④例会出席義務の強化方向での提案

これらは理事会側の根回しとも思われる対策の中でいずれも採択されなかったとのこと。今回の規定審議会はオンラインでの参加となり、審議については途中音声に乱れがあって聞き取れないとか、会場の全体的雰囲気を感じられないなどの問題もあり、基本リアルでの会議であるべきだったとのことのお話です。

今回採択された制定案の中で制定案の中で今後のクラブ・地区運営に強く関わってくる案件は以下のとおりです。

- ①制定案22-07;理事会の議事録の30日以内（60日を改正）の配布
- ②制定案22-13; 会員がクラブの所在地域に住居又は事業場を有する要件を削除
- ③制定案22-46;人頭分担金を増額する件（半年ごとに増額される）
- ④制定案22-56;地区による立法案及び決議案の提出方法を改正する件  
（立法案・決議案の提出につき、提案するための承認要件が緩和された）
- ⑤制定案22-85;出席報告の提出義務を撤廃する件（月次出席報告を各クラブがガバナーに提出する義務規定が削除された）

以上が2022年規定審議会にて採択された制定案の主な内容です。

国際ロータリーは、クラブ運営については、より運営の柔軟性と言う方向に向かっていると思われま。



## 【地区活動報告】

## 地区インターアクトクラブ 国内研修オリエンテーション



地区インターアクト委員長 渡辺 隆一



2022年11月13日(日)10時30分～12時30分、河内長野駅前市民センター・ノバティホールにおいて、IAC国内研修オリエンテーションを開催いたしました。新型コロナ禍前の例年は、青少年の育成を図り「奉仕の精神」を養うために、インターアクト

クラブ部員を海外に派遣して研修を行っておりましたが、新型コロナ禍等諸般の事情に鑑み、今年度は日程を短縮して12月後半に、宮城県気仙沼市およびその周辺への国内研修を実施する予定にしております。今回のオリエンテーションは、国内研修についての説明と、各校IACの生徒さん同士の親睦を深めることを目的として行いました。

宮城県気仙沼市およびその周辺は、東日本大震災で甚大な被害を受けた地域の1つであり、今回の国内研修では、ボランティア活動、地域の住民の方々や中高生との交流、伝承館の見学など様々なプログラムを実施する方向で計画を進めています。海外ではなく国内である点は、生徒さん方が残念そうではありましたが、3年振りの研修復活ということもあり、親睦を図るゲーム等でも和気あいあいと楽しく行われていたように感じました。

オリエンテーションには、本国内研修のコーディネーターをお願いしました箕面ユネスコ協会会長の坂口一美(さかぐちひとみ)さま(気仙沼市出身)をお招きし、



本国内研修の概略等について、動画などを交えてご説明いただきました。本国内研修の実施にあたっては、安全に万全を期して進めてまいります。

今回の国内研修オリエンテーションの開催にあたり、ご尽力いただきましたすべてのみなさまに深く感謝申し上げます。

写真提供 地区幹事 濱田 雅嘉



## 【地区活動報告】

## 慶風高校インターアクトクラブ設立総会・認定状伝達式



地区インターアクト委員長 渡辺 隆一

2022年11月23日(水)、和歌山市内のホテルアバローム紀の国において、和歌山アゼリアロータリークラブ提唱の「慶風高校インターアクトクラブ」の設立総会・認証状伝達式が執り行われました。

「慶風高校インターアクトクラブ」(和歌山県紀美野町)は、2022年8月8日に国際ロータリーから、正式加盟を認定されました。「慶風高校インターアクトクラブ」は、**地区内13番目**のクラブとなります。



式典には、森本ガバナーをはじめ、谷ガバナーエレクトほか地区役員のみなさん、地区内インターアクトクラブの顧問・生徒さん方、和歌山市下のロータリークラブの会長・幹事、地区インターアクト委員会のみなさんと、多数のみなさんのご臨席を賜りました。

「慶風高校インターアクトクラブ」誕生のこの日までご苦勞をなされた生徒のみなさん、同校の田原理事長をはじめとする先生方、学校関係者のみなさん。スポンサークラブである和歌山アゼリアロータリークラブのみなさんに心から敬意を表します。

設立総会の前には、慶風高校インターアクトクラブの今後の参考にしてもらうために、和歌山アゼリアロータリークラブの例会を開催されるなど、創意工夫を凝らした式典が催されました。今後、地区内外のインターアクトクラブとの交流・親睦を深めて、活発に活動していただければと思います。当地区の新しいインターアクトクラブの誕生を心よりお祝い申し上げます。

## インターアクトとは

インターアクトは、12歳から18歳までの青少年のための奉仕クラブです。同世代の参加者と交流を深め、楽しく活動に参加しながら、地域に役立つボランティア活動に参加するほか、平和と国際理解について学びます。地元のロータリークラブがスポンサー(提唱クラブ)となり、活動を支援し、アクターが、リーダーとしての力を身につけられるよう指導します。